MITSUBISHI

三菱<強制給排気式ガスストーブ>

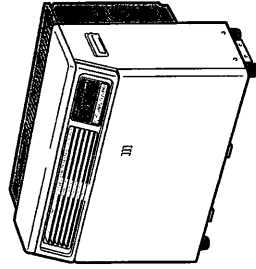
クリーンヒーターエアコン®

型式名

VGC-527H

VGC-527H-T

取扱説明書

お客さま用

ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくため、この取扱説明書を必ずお読みください。

この説明書はお読みになった後、お使いになるかたがいつでも見られるところに同梱の保証書と共に保存のうえ、ご使用中にわからないことや不具合が生じたとき、お役立てください。

保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。

この製品は給排気工事を必要としますので、**据付工事をお客さまご自身がしないでください。**

(安全や機能の確保ができません。)

9704R870HJ8001

主な特長

クリーンヒーターエアコンは年間を通して快適に過ごしていただくため、次のような特長をそろえました。

FF式暖房機だから

外気温に左右されない力強い暖房パワー。
外の空気を使って燃焼し、燃焼排ガスを外へ出すのでお部屋の空気を汚しません。

室温調節も簡単（温感コントロール）

「寒い」「暑い」など人それぞれの感覚に合わせてお部屋の温度を自動的にコントロールします。

17·19 ページ

おはようタイマー

暖房時は、ご希望の時刻にお部屋が暖まっているよう自動的に点火します。

23 ページ

おやすみタイマー

ご希望の時刻に自動的に運転を停止します。

20 ページ

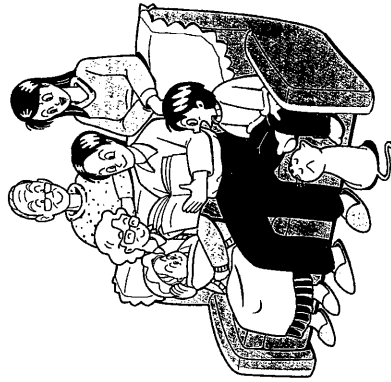
ホットダッシュ（暖房時）

室温が15℃以下で暖房運転を開始した場合、15分間暖房能力を約15%増やし早くお部屋を暖めます。

ひかえめ運転

壁や天井が暖まったら（暖房時）温度を自動的にコントロールして、余分なエネルギーを使用しない運転をします。
[冷房時は壁や天井が冷えたら]

26 ページ

もくじ

次のようなマークで必要な情報を示しています。

[お願い]	正しく使っていただくための情報です。
	より便利にご使用いただくための情報です。
	細部の機能説明です。
	参照ページを示します。

ページ

安全のために必ずお守りください

⃠	禁止
	分解禁止
	接触禁止
	ぬれ手禁止
	アース線接続

	指示に従い必ず行う
	電源プラグを抜く
⚠	注意を表わす
	火災注意
	回転物注意

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、つぎの表示で区分して説明しています。

●表示と意味は、次のとおりになっています。

⚠危険	誤った取扱をしたときに、死亡や重傷・火災の危険に結びつくもの
⚠警告	誤った取扱をしたときに死亡や重傷・火災などに結びつく可能性があるもの
⚠注意	誤った取扱をしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

●図記号の意味は、次のとおりになっています。

⃠	禁止		指示に従い必ず行う
	分解禁止		電源プラグを抜く
	接触禁止	⚠	注意を表わす
	ぬれ手禁止		火災注意
	アース線接続		回転物注意

⚠危険

ガス漏れ時使用厳禁

ガス漏れに気付いたときはガス事業者(供給業者)の処置が終わるまでの間絶対に火をつけたり、電気器具(換気扇その他)のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差し及び周辺の電話を使用しない

【炎や火花で引火し爆発事故を起こすことがあります】

①すぐに使用をやめ、ガス栓を閉じる

②窓や戸を開けガスを外へ出す

③販売店またはお近くのガス事業者(供給業者)に連絡する

給排気筒のはずれやふさがれていないか確認

はずれ危険

ふさぎ危険

(はずれていたり、ふさがれていると燃焼排ガスが室内に漏れ、一酸化炭素中毒の原因となります)

室内排気厳禁

(給排気工事をしないで使用厳禁)

(異常燃焼し、一酸化炭素中毒の原因になります)

⚠警告

使用ガス・電源について確認

製品右側面に貼り付けてある銘板で確認する

例

(ガス種や電源が間違っていると不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発点火することがあります特に転居の際には必ずご確認ください)

お客さま自身で据付工事をしない

移設時を含め、必ずお買上げの販売店に依頼し、安全な位置に正しく据付けてもらう

(不備があると、燃焼排ガス漏れ、感電、火災の原因になります)

ガス事故防止

ガス接続について次の点を確認する

ガス種が12A・13Aの場合	その他のガス種の場合
ガス機器用に指定されたガスコードを使用する	強化ガスホースで接続する

安全のために必ずお守りください

記号	意味	記号	意味
⊘	禁止	●	指示に従い必ず行う
	分解禁止		電源プラグを抜く
	接触禁止	△	注意を表わす
	ぬれ手禁止		火災注意
●	アース線接続		回転物注意

⚠警告

火災予防

燃えやすいものの近接禁止

（火災の原因になります）

引火のおそれがあるもの使用禁止
製品や給排気筒トップの周囲にはガソリン・シンナー・スプレーなど引火しやすいものを近づけない

（引火して火災のおそれがあります）

温風吹出口・空気吸込口をふさがない
紙・布・異物などを入れたり、開口部をふさいだりしない

（異常過熱し、火災の原因になります）

スプレー缶放置厳禁

（熱でスプレー缶内の圧力が上がり爆発するおそれがあります）

低温やけどに注意

温風が直接あたる場所で就寝しない
次のような方が使用する場合は周りの人が注意してください
* 乳幼児・お年寄り・病人など自分の意志で体を動かせない方
* 疲労の激しい時・深酒した時
* 皮膚の弱い人など

（低温やけど・脱水症状の原因になります）

分解・改造禁止

修理技術者以外の人は分解・修理を行わないでください

（感電事故の原因になります）

回転物注意

室外ユニットに指や棒などを入れない

（ファンが高速で回転しており、ケガの原因になります）

冷風に注意

冷風を長時間、直接身体にあてない

（体質悪化・健康障害の原因になります）

⚠警告

異常時の処置

使用中に異常な燃焼、臭気、音、温度を感じた場合
使用途中で消火する場合

⇩

運転を停止し、ガス栓を閉じて電源プラグを抜く

⇩

故障異常の見分け方と処置方法（30～34ページ）に従い処置をする
上記の処置をしても直らない場合はお買上げの販売店に連絡する

地震・火災など緊急の場合

⇩

迅速に運転を停止し、ガス栓を閉じて電源プラグを抜く

電気事故防止

室内ユニットは交流100V以外では使用しない

（火災・感電の原因になります）

コードの束ね、延長、物乗せ禁止

（火災・感電の原因になります）

プラグの抜き差しによる運転・停止をしない

（室内ユニットの過熱のもとになります）

プラグは確実に差し込む

（差し込みがゆるいと感電や火災の原因になります）

安全のために必ずお守りください

⚠警告

電気事故防止

プラグのほこりは拭きとる

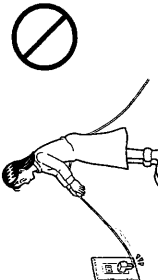
（長期間放置すると、ほこりなどによりプラグ発火の原因になります）

たこ足配線禁止

（コンセントが過熱され発火の原因となります）

ぬれた手でプラグの抜き差しをしない

（感電のおそれがあります）

コードを持って引き抜かない

（断線して発熱や発火の原因になります）

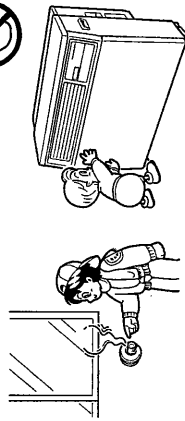
⚠注意

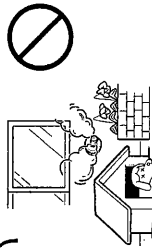
やけどに注意

高温部にさわらない

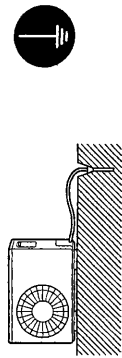
温風吹出口や給排気筒トップは使用中や使用直後は高温になっています

（やけどをします）

触れるおそれのある場合はシステム部材のトップガード、グリルガードをご使用ください

燃焼排ガスに注意

愛がん動物や植木などに燃焼排ガスをあてない

（動物が死んだり、植木が枯れる原因になります）

電気事故防止

この製品はアース工事が必要ですのでアース工事がされているのか確認する

（アース工事が不完全な場合は感電の原因になることがあります）

安全のためのお願い

記号	意味	記号	意味
⊘	禁止	❶	指示に従い必ず行う
⊘	分解禁止	●	電源プラグを抜く
⊘	接触禁止	⚠	注意を表わす
⊘	ぬれ手禁止	⚠	火災注意
●	アース線接続	⚠	回転物注意

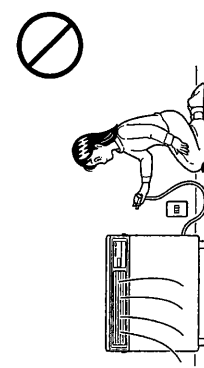
腰をかけたり、物をのせたり、強いショックをあたえない

（変形・故障や給排気部品がはずれる原因になります）

燃焼中は電源プラグを抜いたり、元電源（ブレーカー）を切らない

（余熱により故障する原因になります）

雷時の注意

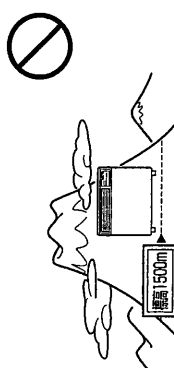
雷が発生しはじめたら、すみやかに運転を停止し、電源プラグを抜く

（雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります）

標高1500m以上の高地では使用しない

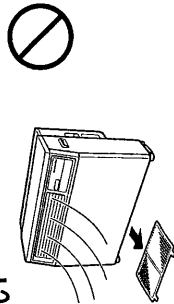
標高1500m

（不完全燃焼の原因になります）

動植物に直接風をあてない

（悪影響を及ぼす原因になります）

安全のためのお願い

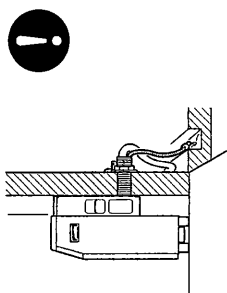
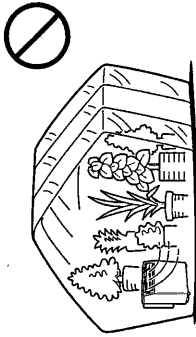
⃠	禁止	●	指示に従い必ず行う
	分解禁止		電源プラグを抜く
	接触禁止	⚠	注意を表わす
	ぬれ手禁止		火災注意
●	アース線接続		回転物注意

使用中にエアーフィルターをはずさない
エアーフィルターをはずしたまま使用しない

(ほこりが製品内部に入り、発火して火災の原因になります)

他の目的に使用しない

食品・動植物・精密機器・美術品などの保存等特殊な用途には使用しない

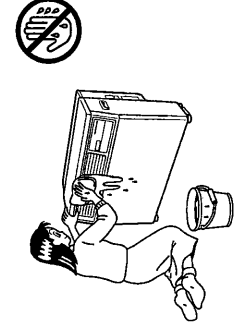
(美術品などの品質が低下する原因になります)

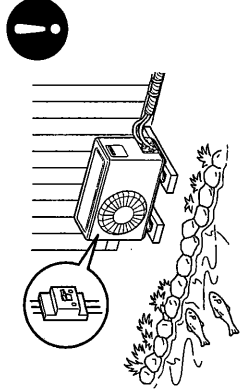
ドレンホースは確実に排水するように配管してあることを確認する

(不確実な場合、ドレンが室内ユニットからあふれ、家財等を濡らすことがあります)

室内ユニットを水洗いしない また、濡れた手で操作しない

(感電の原因になります)

据付台などが傷んだ状態で放置しない

(室外ユニットが落下し、けがの原因になることがあります)

専用回路となっていること、漏電しゃ断器が取付けられていること

詳しくは設置工事説明書をご覧ください

(感電の原因になることがあります)

各部のなまえとはたらき

正面

背面

※図は説明用で使用時とは異なります。

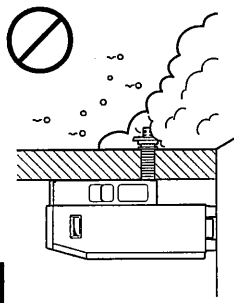
表示部・操作部のなまえとはたらき

据付けの確認

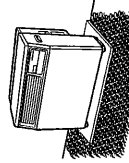
記号	意味	記号	意味
⊘	禁止	●	指示に従い必ず行う
⊘	分解禁止	●	電源プラグを抜く
⊘	接触禁止	△	注意を表わす
⊘	ぬれ手禁止	△	火災注意
●	アース線接続	△	回転物注意

⚠警告

給排気筒トップが積雪や屋根から落ちた雪でふさがらないようにする
厳寒地域では給排気筒トップにつららがつくことがありますので注意してください

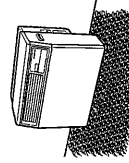
（ふさがると運転停止や爆発点火することがあります）

積雪時には給排気筒トップの点検と除雪を行ってください

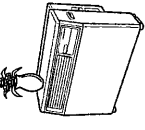
⚠注意

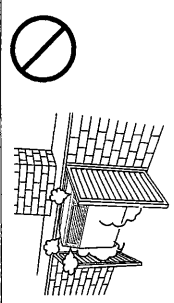
毛足の長いじゅうたんの上に据付ける場合は、安定のよい敷き板などを敷いて水平にする

（室内ユニットが不安定になることがあります）

温室・動植物の飼育室など、特殊な場所には据付けない

（植物が枯れたり、動物が死亡することがあります）

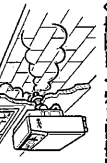
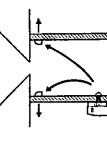
電気カーペット・温水マットの上には据付けない

（重みで電気カーペット・温水マットが故障することがあります）

水のかかる場所には据付けない室内ユニットの上に花びんや金魚ばちを置かない

（室内ユニット内部に浸水するおそれがあり、絶縁劣化による感電の原因となります）

温風・冷風吹出口前方にギャラリ（格子）を取付けない

（室温調節が正しく行われないうえ、高温となり火災の原因となります）

⚠注意

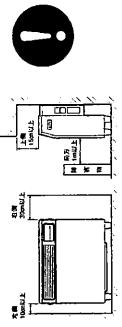
燃焼排ガスがよどむ場所には据付けない

（燃焼排ガスを再度吸い込んで不完全燃焼を起こしたり、運転停止したりすることがあります）

燃焼排ガスが室内（隣家も含め）に入りやすいところには据付けない

（室内空気が汚染されます）

製品と周囲との離隔距離

製品を据付ける場合は、火災予防のため「ガス機器の設置基準及び実務指針」に定められた寸法および、据付工事、給排気周りの点検、アフターサービスを行うために必要な下記の空間寸法を必ずとってください。

室内ユニット

	理　由
上側	冷房時の結露防止
左側	壁の変色防止
右側	アフターサービス
前方	温風の短絡防止

●ガス栓の開閉、電源プラグの抜き差しが容易にできるようにしてください。
●電源コードが排気筒に接触しないよう十分離してください。
［詳しくは設置工事説明書をご覧ください］

室外ユニット

●室外ユニットの周囲は、アフターサービスと冷房性能確保に必要な空間をとって据付けしてください。
［詳しくは設置工事説明書をご覧ください］

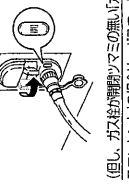
使用前の準備

この製品は、暖房・冷房・ドライの3通りの運転ができます。

運転開始前の準備

■電源プラグを専用コンセントに差し込む

暖房時

■部屋のガス栓を全開にする

（但し、ガス栓が開閉ツマミの無い「ガスコンセント」の場合は、ガスコードの等のソケットを「ガスコンセント」へ取付けますと自動的に開栓します）

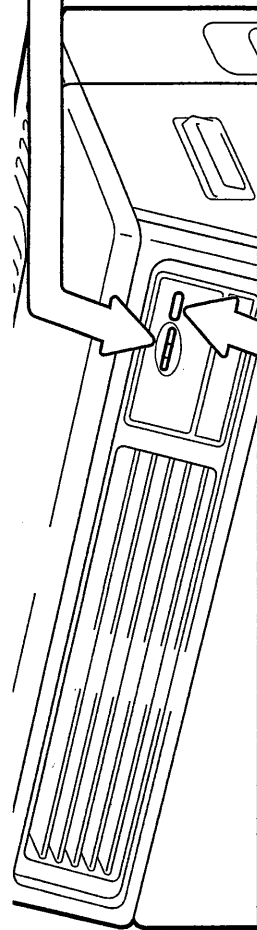
冷房・ドライ時

■保護カバーを取りはずす

●保護カバーを取付けたまま運転しますと、ブレーカーが作動して運転を停止します。

■室外ユニット（単相200V）用ブレーカーを「入」にしてください

●ブレーカーが「切」のまま運転操作されますと、室内ユニットおよび室外ユニットは送風状態になりますが、圧縮機が運転されず冷房運転はしません。

使いかた ふだんの使いかた(暖房時)

点火のしかた

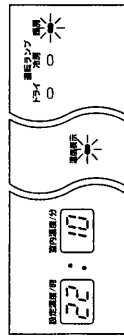
操作部のふたを開けて運転切換スイッチが「暖房」になっていることを確認する

運転スイッチを押す

運転スイッチ 入 切

●暖房ランプが点灯する。
●温風がゆるやかに出はじめ、徐々に増加します。

表示部

設定温度/時 22 : 室内温度/分 10　運転表示　ドライ 運転ランプ 冷房 暖房

工場出荷時、設定温度は暖房時22℃に設定されています。

消火のしかた

運転スイッチを押す

運転スイッチ 入 切

●暖房ランプが消灯し、燃焼が停止する。
●しばらくして送風が止まります。

表示部

設定温度/時 - - : 室内温度/分 - -

現在時刻がセットされていれば

設定温度/時 21 : 室内温度/分 40　現在時刻

現在時刻の合わせかた……21ページ

例】
21時40分の表示

室温調節 [温感コントロール]

■「寒い」「暑い」という感覚を、それぞれのスイッチを押すだけで温度設定ができます。

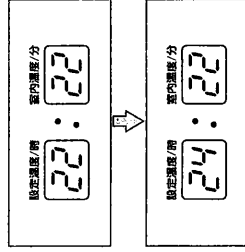
ミニ情報　温感コントロールとは室内温度の情報から、最適な設定温度を決めて変更します。

室温がほぼ設定温度になったころに、「寒い」・「暑い」と感じたら

■寒いときは
「寒いとき」スイッチを押す

●設定温度が室内温度より1～2℃上がる。

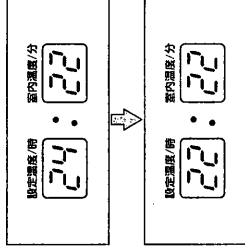
表示部

設定温度/時 22 : 室内温度/分 22
⇩
設定温度/時 24 : 室内温度/分 22

設定温度が室内温度より2℃以上高いときは押しても作動しません。

■ちょうどいいときは
「快適」スイッチを押す

●現在の暖かさを保つように設定温度を変更する。

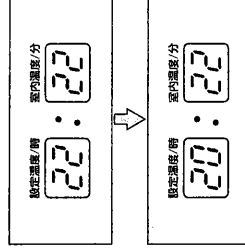
表示部

設定温度/時 24 : 室内温度/分 22
⇩
設定温度/時 22 : 室内温度/分 22

設定温度と室内温度表示が一致しないときがあります。

■暑いときは
「暑いとき」スイッチを押す

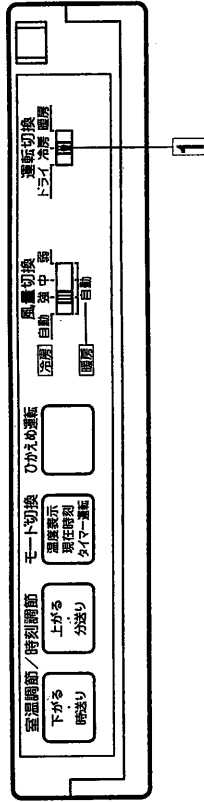
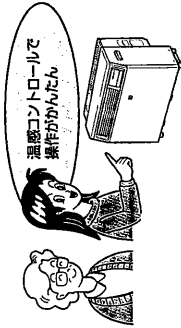
●設定温度が室内温度より1～3℃下がる。

表示部

設定温度/時 22 : 室内温度/分 22
⇩
設定温度/時 20 : 室内温度/分 22

設定温度が室内温度より2℃以上低いときは押しても作動しません。

次のようなときは温感コントロールが解除されます。
●室温調節ボタンを押したとき

使いかた ふだんの使いかた(冷房時)

温感コントロールで操作がかんたん

運転開始

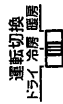
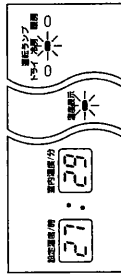
1 操作部のふたを開けて運転切換スイッチを「冷房」にする

運転切換 ドライ 冷房 暖房

2 運転スイッチを押す

運転スイッチ 入 切

●冷房ランプが点灯する。
●冷房運転を開始する。

設定温度/時 室内温度/分 27:29 温度表示 運転ランプ ドライ 冷房 暖房

工場出荷時設定温度は27℃に設定されています。

運転停止

運転スイッチを押す

運転スイッチ 入 切

●しばらくして送風が止まります。

現在時刻がセットされていれば

設定温度/時 室内温度/分 21:40 現在時刻

現在時刻の合わせかた……21ページ

例】
21時40分の表示

室温調節 [温感コントロール]

■「寒い」「暑い」という感覚を、それぞれのスイッチを押すだけで温度設定ができます。

ミニ情報 温感コントロールとは室内温度の情報から、最適な設定温度を決めて変更します。

室温がほぼ設定温度になったころに、「寒い」・「暑い」と感じたら

■寒いときは
「寒いとき」スイッチを押す

寒いとき

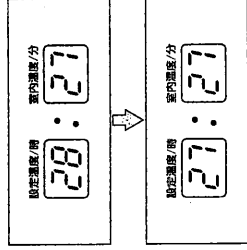
●設定温度が室内温度より1℃上がる。

設定温度が室内温度より1℃以上低いときは押しても作動しません。

■ちょうどいいときは
「快適」スイッチを押す

快適

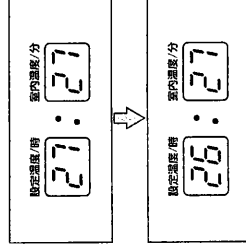
●現在の涼しさを保つように設定温度を変更する。

設定温度/時 室内温度/分 28:27 → 27:27

設定温度と室内温度表示が一致しないときがあります。

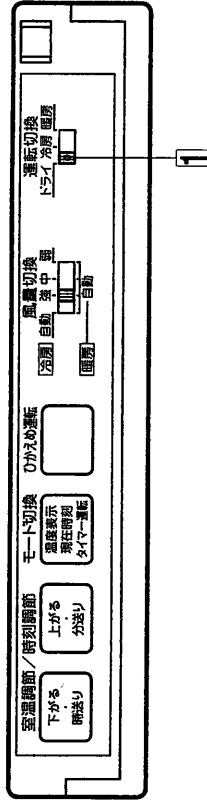
■暑いときは
「暑いとき」スイッチを押す

暑いとき

●設定温度が室内温度より1℃下がる。

設定温度/時 室内温度/分 27:27 → 26:27

設定温度が室内温度より1℃以上高いときは押しても作動しません。

メモ 次のようなときは温感コントロールが解除されます。
●室温調節ボタンを押したとき

使いかた ふだんの使いかた(ドライ時)

運転開始

1 操作部のふたを開けて運転切換スイッチを「ドライ」にする

運転切換
ドライ 冷房 暖房

表示部

2 運転スイッチを押す

運転スイッチ 入 切

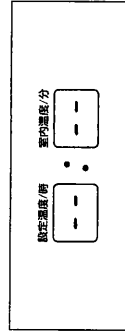
●ドライランプが点灯する。
●ドライ運転を開始する。

運転停止

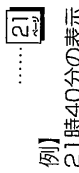
運転スイッチを押す

運転スイッチ 入 切

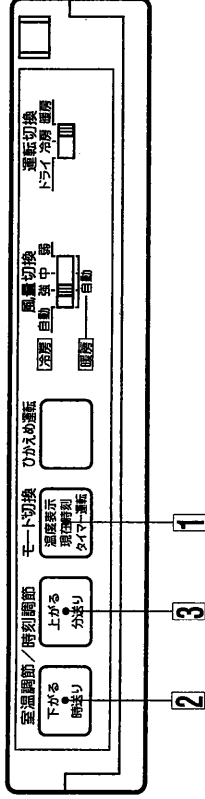
●しばらくして送風が止まります。

表示部

現在時刻がセットされていれば

現在時刻の合わせかた ……21ページ

例】
21時40分の表示

メモ
●ドライ運転中は室温調節、風量切換はできません。
●ドライ運転中は設定温度は表示されません。

いろいろな使いかた

時刻合わせのしかた

例】14時30分に合わせる場合

準備　・運転スイッチを「入」にする。

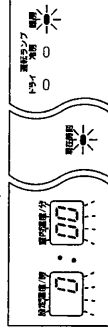
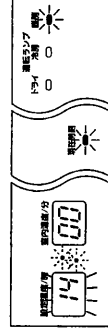
表示部

1 モード切換ボタンを押して現在時刻モードにする 25ページ

モード切換（温度表示 現在時刻 タイマー運転）

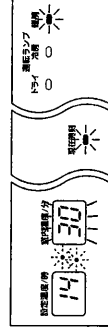
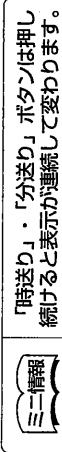
●現在時刻表示ランプが点灯する。
●デジタル表示部が点滅する。

2 時刻調節ボタン「時送り」を押す

下がる・時送り

●14時を表示させる。

0〜23時まで表示可能

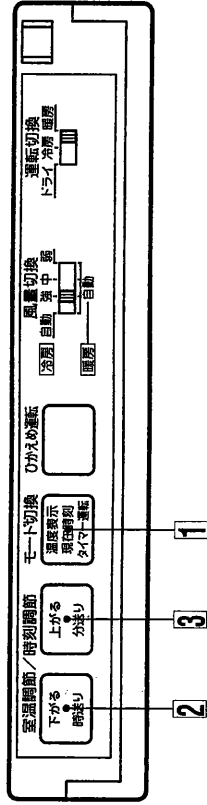
3 時刻調節ボタン「分送り」を押す

上がる・分送り

●30分を表示させる。

0〜59分まで表示可能

ミニ情報
「時送り」・「分送り」ボタンは押し続けると表示が連続して変わります。

いろいろな使いかた

タイマー運転のしかた[おやすみ]

寝る前に「おやすみタイマー」をお好みの時刻にセットしておやすみになりますと自動的に運転を停止します。

例】23時15分にセットする場合

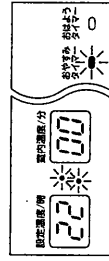
準備 ・運転スイッチを「入」にする。
・現在時刻を合わせていないと使用できません。

1 モード切換ボタンを押して おやすみタイマーモードにする

25ページ

モード切換 温度表示 現在時刻 タイマー運転

●おやすみタイマーランプが点灯する。
●おやすみタイマー時刻を表示する。

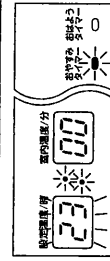
表示部

●おやすみタイマー時刻は工場出荷時「22：00」にセットされています。

2 時刻調節ボタン「時送り」を押す

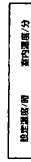
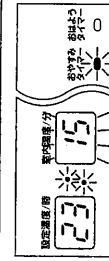
下がる 時送り

●23時を表示させる。

3 時刻調節ボタン「分送り」を押す

上がる 分送り

●15分を表示させる。

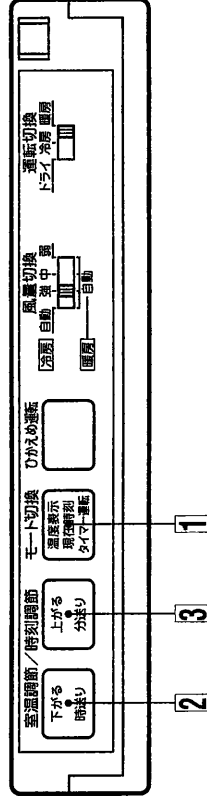
セット時刻になると

メモ

次のようなときはおやすみタイマー運転が解除されます。
●モード切換ボタンを押しておやすみタイマーランプが消灯したとき
●運転スイッチを押して「切」にしたとき

■毎日同じ時刻におやすみタイマー運転をしたいとき
●モード切換ボタンを押しておやすみタイマーモードにします。
タイマー時刻は一度セットすれば記憶されています。

いろいろな使いかた

タイマー運転のしかた[おはよう]

暖房時、寝る前に「おはようタイマー」をセットすると、おめざめのときにはお部屋が暖まっています。（スタディウォーミングアップ機能）
冷房時・ドライ時には設定した時刻に運転を開始します。

例】6時30分にセットする場合

準備 ・運転スイッチを「入」にする。
・現在時刻を合わせていないと使用できません。

1 モード切換ボタンを押して おはようタイマーモードにする

25ページ

モード切換 温度表示 現在時刻 タイマー運転

●おはようタイマーランプが点灯する。
●おはようタイマー時刻を表示する。

表示部

●燃焼中に押すと燃焼が停止します。
●おはようタイマー時刻は工場出荷時「5:00」にセットされています。

2 時刻調節ボタン「時送り」を押す

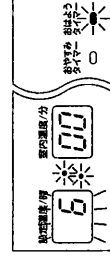
下がる 時送り

●6時を表示させる。

3 時刻調節ボタン「分送り」を押す

上がる 分送り

●30分を表示させる。

メモ

次のようなときはおはようタイマー運転が解除されます。
●モード切換ボタンを押しておはようタイマーランプが消灯したとき
●運転スイッチを押して「切」にしたとき

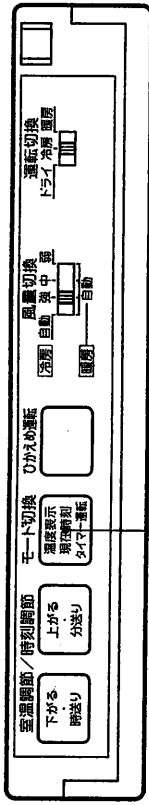
■毎日同じ時刻におはようタイマー運転をしたいとき
●モード切換ボタンを押しておはようタイマーモードにします。
タイマー時刻は一度セットすれば記憶されています。

スタディウォーミングアップ機能とは(暖房時のみ)

●おはようタイマー時刻には、お部屋が約18℃程度になっているように少し早目に運転を開始します。（ウォーミングアップ機能）
●お部屋の広さ、運転開始時の温度により、運転開始から18℃に達するまでの時間が変わります。前日の暖房立上がり時間を記憶していて、その日のセット時刻1時間前の室内温度に合った運転開始時刻を決定します。（スタディ機能）
■ウォーミングアップ機能の初期設定値

セット時刻1時間前の室内温度	5℃未満	5~9℃	10~17℃	18℃以上
おはようタイマー設定時刻に対する運転開始時刻のめやす	30分前	20分前	10分前	セット時刻

タイマー運転のしかた[おやすみ・おはよう]

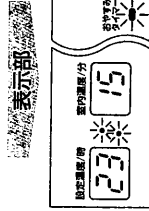
おやすみタイマーで運転を停止し、おはようタイマーで運転を開始します。暖房時はおめざめのときにはお部屋が暖まっています。

準備
・運転スイッチを「入」にする。
・現在時刻を合わせていないと使用できません。

・おやすみタイマー時刻をセットする ……22ページ

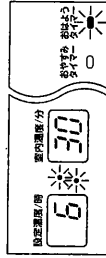
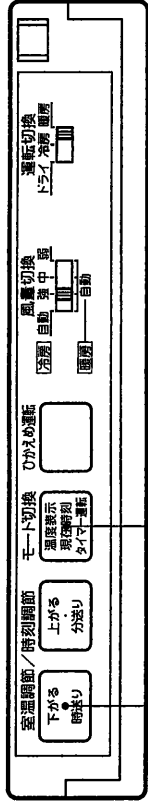
・おはようタイマー時刻をセットする ……23ページ

1 モード切換ボタンを押して おやすみタイマー・おはようタイマーモードにする 25ページ

モード切換（温度表示 現在時刻 タイマー運転）

- ●おやすみタイマーランプとおはようタイマーランプを点灯させる。
- ●おやすみタイマー時刻を表示する。

例】おやすみタイマー時刻を23時15分にセットした場合

●おやすみタイマー時刻に運転を停止し、おはようタイマー時刻に運転を開始します。

例】おはようタイマー時刻を6時30分にセットした場合

メモ
おはようタイマーで運転を開始して、その後おやすみタイマーで運転を停止する使い方はできません。

室温調節／モード切換のしかた

室温調節のしかた

例】設定温度を20℃に調節する場合

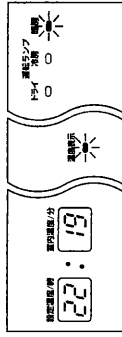
準備　・運転スイッチを「入」にする。

表示部

1 温度表示ランプの点灯を確認する

モード切換（温度表示 現在時刻 タイマー運転）

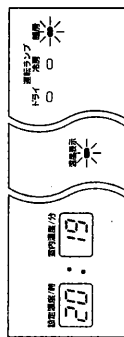
●点灯していないときは、モード切換ボタンを押して温度表示モードにし、温度表示ランプを点灯させる。

設定温度/時 22 : 室内温度/分 19　温度表示　運転ランプ ドライ 冷房 暖房

モード切換ボタンを押すごとに変わります。下記のモード切換のしかた参照。

2 室温調節ボタン「下がる」を押す

下がる・時送り

●20℃を表示させる。

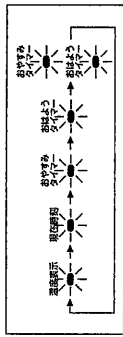
設定温度/時 20 : 室内温度/分 19　温度表示　運転ランプ ドライ 冷房 暖房

- ●暖房時は8℃~30℃の範囲で調節できます。冷房時は16℃~32℃の範囲で調節できます。
- ●温度表示ランプが点灯中のとき操作できます。

モード切換のしかた

温度・現在時刻・タイマー運転のいずれかを選択して設定・変更および確認ができます。

1 モード切換ボタンを押す

モード切換（温度表示 現在時刻 タイマー運転）

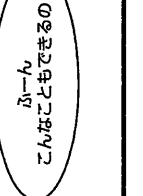
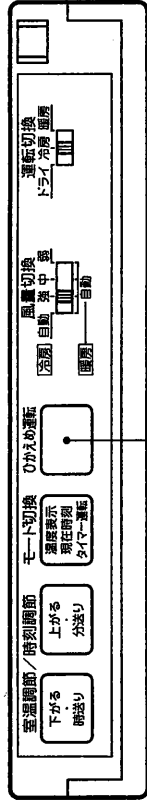
- ●ボタンを押すごとに表示が右のように変わります。
- ●現在時刻が設定されていないと、タイマー運転に切換わりません。

表示部

温度表示 → 現在時刻 → おやすみタイマー → おはようタイマー → おやすみタイマー・おはようタイマー

現在時刻の合わせかた ……21ページ

表示切換の種類

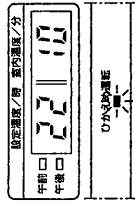
■温度表示は	■現在時刻は	■タイマー運転は
設定温度の変更のとき使います。	現在時刻を合わせるとき使います。	おはようタイマー時刻(おやすみタイマー時刻)の変更と、運転のとき使います。

ひかえめ運転のしかた

ひかえめ運転とは暖めすぎまたは冷やしすぎを防ぐ節約運転です。

(準備)・運転切換スイッチを「暖房」または「冷房」にします。
・運転スイッチを「入」にする。

1 ひかえめ運転ボタンを押す

●ひかえめ運転ランプが点灯します。

表示部

メモ

次のようなときはひかえめ運転が解除されます。
●ひかえめ運転ボタンを再度押したとき
●温感コントロールスイッチを押したとき

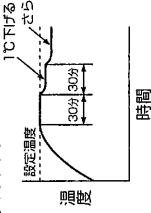
ミニ情報

●ドライ運転時にはひかえめ運転はできません。
●おはようタイマー運転中、おやすみタイマー運転中でもセットすることができます。
●ひかえめ運転中に設定温度を変更したときは、変更した設定温度でひかえめ運転をします。

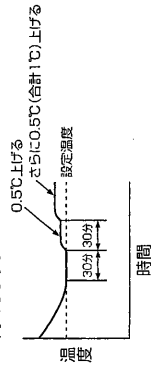
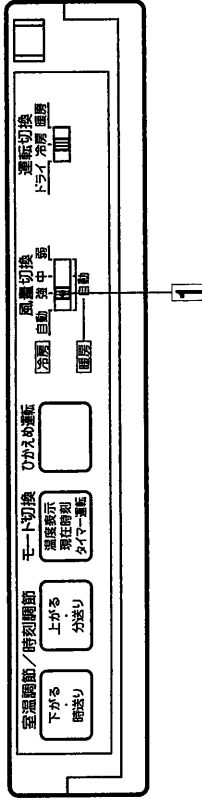
ひかえめ運転とは

お部屋を暖房中、壁や天井などが暖まってくると、冷えているときにくらべて、同じ室温でも暖かく感じます。そこで暖め過ぎたり、余分なエネルギーを使用しないように、少し設定温度を下げて運転するのがひかえめ運転です。(冷房運転中は、少し設定温度を上げて運転します)
ひかえめ運転ランプを点灯しておくと、室内ユニットが自動的に調整して行うもので、設定温度表示は変化しません。

■暖房運転の場合

お部屋の温度が設定温度に到達後、30分たつと設定温度を自動的に1℃低くし、さらに30分たつと設定温度をさらに1℃低くします。

■冷房運転の場合

お部屋の温度が設定温度に到達後、30分たつと設定温度を自動的に0.5℃高くし、さらに30分たつと設定温度をさらに0.5℃高くします。

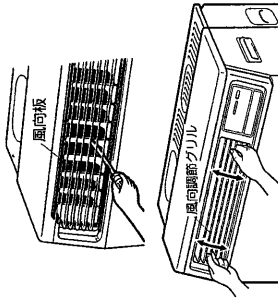
0.5℃上げる
さらに0.5℃(合計1℃)上げる
設定温度
温度
30分 30分
時間

風量切換のしかた／風向き調節のしかた／停電のとき

風量切換のしかた

1 風量切換スイッチを切換える

●暖房・ドライ運転時はスイッチの位置に関係なく自動運転となり風量の切換えはできません。

冷房時の風量切換の種類

■自動は	■強は	■中は	■弱は
部屋の温度変化により、自動的に風量を調節します。	急速に冷やしたいときに使用します。	強運転と弱運転の中間程度の効果が得られます。	ゆるやかな冷風となり、静かな運転音で冷房運転をします。

風向き調節のしかた

風向きを左右に変えるには温風・冷風吹出口の奥の風向板を棒状のもの(ドライバーなど)で動かします。
●左右の調節は3~5回が限度です。それ以上動かすと折れることがあります。

風向きを上下に変えるには風向調節グリルの両端を両手でつまみ、上・下に軽く動かします。
※暖房時は風を下向きに、冷房時は上向きにすると効果的な暖・冷房ができます。

⚠注意 使用中や使用直後は高温になっていますので、絶対に風向きの調節はしないでください。

停電のとき

停電または電源プラグを抜いたときはすべての設定が取り消されます。再度下記の設定を行ってください。

●設定温度……………… 25ページ
●現在時刻……………… 21ページ
●おはようタイマー運転……… 23ページ
●おやすみタイマー運転……… 22ページ

再通電後の表示部は

運転中だったとき	停止中だったとき
E-‖00	--‖--

日常の点検・手入れ

点検・手入れのときの注意

●お手入れの際は必ず運転スイッチを「切」にして運転を停止し、室内ユニットが冷えた状態で行ってください。
●お手入れの際はけが防止のために手袋の着用をおすすめします。

■シーズンはじめ

●給気ホース・排気筒の接続箇所がはずれていないか確認します。

●給排気筒トップ
屋外の給排気筒トップ先端がくもの巣やビニール袋などでふさがれていないか点検します。

●室外ユニットの点検
保護カバーがかかったままになっていないか点検します。

●時刻合わせ
時刻合わせのしかたにより設定してください。…………21ページ

■使用のたびに

●燃焼排ガス
燃焼排ガスのにおいや、目がチカチカしないか点検します。燃焼排ガスが室内に漏れていると一酸化炭素中毒の恐れがあり非常に危険です。

●ガス漏れ
室内ユニット周辺がガス臭くないか点検します。

●周囲の可燃物・引火物
室内ユニットの上や周囲・給排気筒トップの周辺に可燃物、引火物がないか点検します。

●ドレン漏れ
冷房・ドライ運転時、室内ユニットからドレンが漏れていないか点検します。

■1週間に1回以上

●エアーフィルターの清掃
エアーフィルターを、図のように取りはずし、掃除機などでほこりを取り除きます。
温風・冷風吹出口から風が出ていないのを確認してから行ってください。送風中に行うと室内ユニット内部にほこりが入ることがあります。
清掃後は必ず元通り取付けてください。

■1か月に1回以上

●外観の清掃
室内ユニット外観・温風・冷風吹出口などの汚れは乾いたやわらかい布などできれいにふきとります。
シンナー・アルコール・ベンジンなどは使用しないでください。
(塗装面+プラスチックをいためます)

定期点検

強制給排気式ガスストーブ「クリーンヒーターエアコン」は使用される場所や条件、また使用時間により消耗・劣化する部品がありますので、専門技術者による定期点検を受けてください。

定期点検の実施時期

2シーズン毎に1回程度定期点検を受けてください。
ただし、湿度の高いところ、ほこりの多いところ(例えば、厨房室や製綿工場など)、温泉地域などでご使用の場合は、1シーズン毎の点検が必要となりますのでお買上げになった販売店にご相談ください。

★定期点検
定期点検は専門の技術者が、据付状態、給排気まわりの点検・安全装置及び運転動作の点検・確認、使用時間により消耗劣化しやすい部品の点検等を行います。
安全にお使いいただくために製品の状態を点検診断するものですから必ず受けてください。

★お申し込み先
お客さま→お買上げになった販売店、またはお近くの三菱電機お客さま相談窓口

★定期点検費用
定期点検の費用についてはお買上げの販売店にご相談ください。
定期点検の結果、部品交換及び修理等が必要な場合は、処置内容及び費用についてお客さまにご相談申しあげます。

定期点検の内容

	定期点検の内容	項目
1	据付状態、給排気まわりの点検・確認	●製品の据付け・使用状態 ●ガス漏れ ●給排気筒の接続とつまり ●給排気筒トップのつまり
2	安全装置、及び運転動作の点検・確認	●安全装置の働き ●運転動作の点検 ●操作部品や動く部品の働き
3	環境・使用時間により劣化しやすい部品の点検・交換	●給排気系部品、電気接点部品などの点検 ●点火電極、炎検知器などの点検 (劣化の状態により交換の場合もあります)
4	製品の清掃・整備	●本体内 ●温風・冷風吹出口

故障・異常の見分けかたと処置方法

■表示ランプにより異常をお知らせします

表示	原因	処置方法
運転ランプが点灯しない	電源プラグがコンセントから抜けている	電源プラグをコンセントに確実に差し込む
	ブレーカーが作動している	ブレーカーをセットする
E-12	過熱防止装置が作動	33ページ
E-00	停電時安全装置が作動	33ページ
E-01 E-13	立消え安全装置が作動	33ページ
E-04	給排気筒トップの給気口、排気口がふさがれていませんか？	取り除く
	排気筒、給気ホースの長さが長すぎませんか？ 途中にへこみ部がありませんか？	修理を依頼する
E-06	電源投入時にマイコンが50Hz、60Hzの識別ができなかった	電源プラグを一旦抜いて差し込む
E-09	排気筒はずれ検知装置が作動	修理を依頼する
E-99	運転中に運転切換スイッチを切換えた	再度運転スイッチを押して「切」にしてから「入」にしてください
E-02 E-03 E-05 E-07 E-08 E-10	故障です	電源プラグを抜き、お買上げの販売店に表示の内容をご連絡ください
室内温度表示(L)	室内温度が0℃未満であることを表わす	そのままご使用ください 室温が上がっても表示が変わらないときはお買上げの販売店にご連絡ください
室内温度表示(H)	室内温度が35℃を越えていることを表わす	そのままご使用ください 室温が下がっても表示が変わらないときはお買上げの販売店にご連絡ください

上記の処置をしてもなおらない場合や、修理が必要な場合は、使用を中止し、必ず電源プラグを抜いて、ガス栓を閉じてください。 その後お買上げの販売店に修理依頼または、お近くの「三菱電機お客さま相談窓口」にご相談ください。

■故障かな？次の症状は故障ではありません

	症状	原因と対策
点火時	シーズン始め、または長時間運転しなかったとき、なかなか点火しない	ガス配管の中に空気が入っていることがありますので3～4回点火操作を繰り返して点火すれば正常です
	初めて運転したとき、またはシーズン始めに煙やにおいがする	内部の熱交換器などに付着した油やほこりが焼けるためです しばらく換気しながらご使用ください
	ピシッピシッと音がする ゴツンというような音がする	燃焼器の熱伸縮音がすることがありますが異常ではありません
	運転スイッチ『入』でなかなか点火しない	室内温度表示が設定温度より高いと点火しません
燃焼時	設定温度より室内温度表示が高くなっても消火しない	室内温度表示が設定温度より2℃高くなると消火するように制御しています
	室内温度表示と室温が一致しない	室内ユニットの右側に壁、家具等がある場合には一致しないことがあります ルームサーモの位置を変えることにより室内温度表示と室温を近づけることができます (販売店にご相談ください)
	給排気筒トップから湯気が出る	燃焼排ガスは水蒸気を多く含んでいます 水蒸気が冷たい外気にふれて白く見えるためです
消火時・その他	ピシッピシッと音がする ゴツンというような音がする	燃焼器の熱伸縮音がすることがありますが異常ではありません
	運転スイッチを「切」にしてもすぐに温風が止まらない	数分間室内ユニット内部を冷やしてから自動的に止まります
	部屋が乾燥する	部屋の温度が上がると湿度が下がります 市販の加湿器をご使用ください

故障・異常の見分けかたと処置方法

■故障かな？ 次の症状は故障ではありません

	症状	原因
冷房時	部屋が冷えない	下記事項を確認してください ・冷房能力が部屋の大きさと適合していますか ・室外ユニットに保護カバーがかかったままになっていませんか ・室外ユニットの周囲に障害物がありませんか（通風を確保する） ・室外ユニットに直射日光があたっていませんか ・エアーフィルターにほこりがつまっていませんか ・室外ユニット用（単相200V）ブレーカーが「切」になっていませんか
	運転を開始するときや、室温調節器が作動し、運転を再開したとき「シュー」と音がする	冷房に使用するガス（冷媒）が流れ始めた音で異常ではありません
	冷風吹出口から霧が出る	室内の温度条件によって起こることがありますが異常ではありません
	冷風吹出口の回りに水（ドレン）が付く	使用条件によって冷風吹出口の回りに水滴が付く場合がありますので、ぞうきんなどでふき取ってください
	初めて運転したときやシーズンの始めににおいが出る	空気中に含まれたタバコの煙、化粧品、食品などのにおいが室内ユニットに付着し、それが吹きだすためですのでしばらく換気しながら使用してください

以上のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず電源プラグを抜いて、ガス栓を閉じてください。 その後お買上げの販売店に修理依頼または、お近くの「三菱電機お客さま相談窓口」にご相談ください。

■安全装置が作動したときの処置方法

	現象		処置方法
過熱防止装置	エアーフィルターの清掃をしなかったり、他の原因で室内ユニット内部の温度が高くなると、過熱防止装置が作動して運転を停止し、ピッピッと5回ブザーを鳴らし「E-12」を表示します		運転スイッチを「切」にして障害物を取り除いたり、エアーフィルターの清掃を行ってください…28ページ エアーフィルターの清掃などで対応できない場合はお買上げの販売店にご依頼ください
停電時安全装置	運転スイッチが「入」の状態で電源プラグを差し込んでも運転はしません	このときピッピッと5回ブザーを鳴らし「E-00」を表示します	運転スイッチを押しなおせば運転できます
	運転中に停電したときは運転が停止し、再び通電しても、自動的に運転はしません		
立消え安全装置	ガス圧が低かったり、ガスの流れが一時的にしゃ断されたときに運転を停止し、ピッピッと5回ブザーを鳴らし「E-01」を表示します		部屋のガス栓が全開になっているか確認してください
	給排気筒トップの先端部（屋外）に障害物があったり、積雪で周囲が囲われたりして燃焼排ガスが給気口に吸い込まれるようなときに運転を停止し、ピッピッと5回ブザーを鳴らし「E-01」「E-13」を表示します		給排気筒トップの先端部（屋外）が障害物や積雪による囲い状態になっていないか確認して障害物などを取り除いてください
冷房時3分再起動防止装置	冷房運転停止後すぐに（3分以内）再運転すると室内ユニットはただちに運転を開始しますが、室外ユニットは運転しません		室外ユニット保護のために、約3分後に自動的に運転を再開します

以上の処置を行っても不具合があるときは使用を中止し、必ず電源プラグを抜いて、ガス栓を閉じてください。 その後お買上げの販売店へ修理依頼または、お近くの「三菱電機お客さま相談窓口」にご相談ください。

故障・異常の見分けかたと処置方法

こんな症状のときは

使用を中止しお買上げの販売店または、お近くの「三菱電機お客さま相談窓口」に修理依頼してください。

症状	予測される故障
燃焼確認窓が『すす』で汚れて炎がみえない	不完全燃焼をしている
使用中に『ボーン』という大きな音がする	●部品が故障している　●給排気に支障がある
燃焼排ガスのにおいがしたり、目がチカチカする	燃焼排ガスが室内に漏れている
ブレーカーがたびたび作動する	部品が故障している
室内ユニット背面や下側から水が漏れている	ドレンホースがはずれていたり、詰っている

部品交換のしかた

長期間のご使用で、消耗、劣化しやすい部品があります。
お買上げの販売店か、お近くの三菱電機お客さま相談窓口にお問い合わせください。
専門技術者が修理いたします。不完全な修理は危険です。

■消耗、劣化しやすい部品

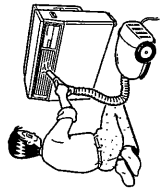
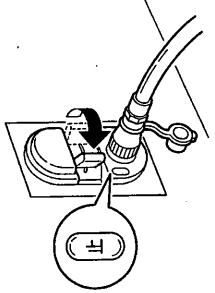
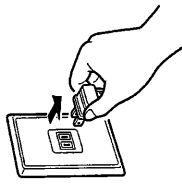
●各種パッキン、排気筒接続用Oリング　●点火電極、炎検知器(フレームロッド)など
●給排気系部品　●燃焼系部品　●電気接点部品

長期間使用しない場合

■長期間使用しないとき(シーズン終了時)は、次の要領でお手入れしてください。
室内・室外ユニットは据付けたままにしてください。

1 電源プラグを専用コンセントから抜いてください。

2 ガス栓を閉じてください。

3 室内・室外ユニット外観、エアーフィルター、温風・冷風吹出口の掃除をしてください。

4 冷房シーズン終了時には、室外ユニットに保護カバーをかぶせることをおすすめします。

地震などの災害が発生したときの点検

☆地震などにより室内ユニットに振動、衝撃が加わったときは、運転をする前に必ず次の点検を実施してください。
点検内容
●給排気回りのはずれ、漏れの確認　●ガス配管からの漏れの確認
☆点検で異常が見つかったときや、点検したのち使用しているときに燃焼排ガスのにおいがしたり、目がチカチカするときは、使用を中止してお買上げの販売店か、お近くの三菱電機お客さま相談窓口へ修理依頼してください。

据付工事後の確認と試運転

据付工事後の確認

据付工事終了後に販売店・工事店とともにお客さまご自身でも下表に基づき点検してください。

点検		点検内容	チェック結果
室内ユニットおよびその周辺	ガス種	銘板は使用ガス種に適合していますか。	
	電源（電圧・周波数）	銘板は使用電源（電圧・周波数）に適合していますか。	
	可燃物との離隔距離	可燃物との離隔距離、火災防止の措置は十分ですか。	
	保守・管理上の空間	操作・点検・修理に必要な空間はありますか。	
	安全据付	床面が不安定な場所に据付けてありませんか。	
		室内ユニットの壁・床への固定はされていますか。	
給排気部品	給気ホース接続部	給気ホースは確実に接続され、給気ホースバンドで固定してありますか。	
	排気筒接続部	排気筒は確実に接続され、C形ストッパーで固定してありますか。	
	排気筒及び給排気筒トップ	給排気筒トップの周囲は基準寸法が守られていますか。	
		排気筒に給気ホースやカーテンなど、燃えやすいものが接触していませんか。	
		燃焼排ガスは屋外へ排気されていますか。	
		給排気筒トップの周囲に障害物（樹木・愛がん動物・雪のふきだまり）はありませんか。	
		給排気筒トップの周囲に危険物（灯油、ガソリン、シンナー等）はありませんか。	
		給排気筒トップの給気口から燃焼空気が吸い込まれていますか。異物でふさがっていませんか。	
		給排気筒トップの排気口より燃焼排ガスが出ていますか。	
		集合煙突に給排気筒トップを取付けた工事はされていませんか。	
	給排気筒延長	床下への直接排気や、天井裏への給排気工事はしてありませんか。	
		排気筒の長さは給気ホースに比べ極端に長くなっていませんか。	
		給気ホース・排気筒の長さは4m以内で曲がり数が3か所以内ですか。	
		排気筒の途中に水がたまるようなへこみ部分はありませんか。	
		排気筒のドレンもどり長さは2m以下になっていますか。	
室外ユニットおよびその周辺	保守・管理上の空間	据付け・点検・修理に必要な空間はありますか。	
	安全据付	床面が不安定な場所に据付けてありませんか。	
		室外ユニットと給排気筒トップとの必要な空間がありますか。	
		ストップバルブ（2方弁、3方弁）が全開になっていますか。	
	冷媒配管	接続部は冷媒漏れがなく、また、断熱されていますか。	
		冷媒配管の配管長は15m以下ですか。	
		冷媒配管の高低差は5m以下ですか。	
		冷媒配管の曲がり箇所は10か所以内ですか。	
		ドレン配管は下り勾配になっていますか。	
電気配線		電源プラグはコンセントに確実に差し込まれていますか。	
		電源コードは高温部に触れていませんか。	
		電源コンセントは電源プラグの抜き差しが容易な位置にありますか。	
		室内外連絡電線は確実に接続されていますか。	
		室外ユニットは専用の単相200V電源になっていますか。	
ガス接続		ガス接続は正しく接続されていますか。長さは適切ですか。	
排気筒はずれ検知リード		排気筒はずれ検知リードは、給排気筒トップに接続されていますか。	
		排気筒はずれ検知リードは、排気筒に接触していませんか。	

上記が守られていないと火災・不完全燃焼などをおこすおそれがありますので、販売店に正しい処置をご依頼ください。

試運転

試運転は、販売店・工事店と立会いで行ってください。
運転手順、異常時の処置方法について販売店・工事店より説明を受けてください。

■運転準備

●電源は室内ユニット単相100V・室外ユニット単相200Vでお使いください。
●ブレーカーを「入」にしてください。

■運転開始と停止の手順

暖房運転

1. **お部屋のガス栓を全開にします。**
2. **運転切換スイッチを「暖房」に切換えてください。**
   運転スイッチを押して「入」にしてください。
   運転ランプが点灯し、燃焼を開始して温風が出ます。 その状態で約15分間運転して異常表示が出ないか確認してください。
3. **再度運転スイッチを押して「切」にします。**
   運転ランプが消灯し、しばらくして本体が冷えると温風が停止します。

冷房運転

1. **運転切換スイッチを「冷房」に切換えてください。**
   運転スイッチを押して「入」にしてください。
   運転ランプが点灯し、冷風が出ます。 その状態で約15分間運転して異常表示が出ないか確認してください。
3. **再度運転スイッチを押して「切」にします。**
   運転ランプが消灯し、運転が停止します。

お知らせ

夏場の暖房運転の場合
●室内温度が30℃以上ある場合に試運転するときには、「上がる」ボタンを5秒以上押し続けてください。 表示部の設定温度表示が「H」となり、10分間連続運転を行います。
●連続運転は自動的に約10分間で解除されますが、「下がる」ボタンを押しても解除できます。

冬場の冷房運転の場合
●室内温度が16℃以下の場合に試運転するときには、「下がる」ボタンを5秒以上押し続けてください。
表示部の設定温度表示が「L」となり、30分間連続運転を行います。
●連続運転は自動的に約30分間で解除されますが、「上がる」ボタンを押しても解除できます。

■初期運転時の現象
●初期運転時にボッボッと音をたてて燃焼することがありますが、故障ではありません。
●温風・冷風吹出口から煙やにおいが出ることがありますが、燃焼器に付着した油やほこりが焼けるためで異常ではありません。
●試運転は部屋の換気をしながら行ってください。

■正常運転のめやす
●正常運転のめやすとして、30～34ページのような現象がないことを確認ください。

保証とアフターサービス

修理・取扱い・お手入れなどのご相談は
まず、お買上げの販売店へお申し付けください。

転居や贈答品などでお困りの場合は右一覧表で
●修理のご相談は　「修理相談窓口」へ
●その他のお問い合わせは　「一般相談窓口」へ

保証書(別添付)について

■保証書は、必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受取りください。
■内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保証期間…お買上げ日から1年間。
(ただし、燃焼器部分については3年間、冷媒回路は5年間です。)

補修用性能部品の最低保有期間は

■クリーンヒーターエアコンの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後9年間です。この期間は、通商産業省の指導によるものです。
■性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

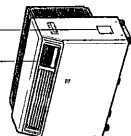
修理を依頼されるときは

「故障かな?」と思ったら(30～34ページ)にしたがってお調べください。なお、不具合があるときは、運転スイッチを切り、必ず電源プラグを抜いてガス栓を閉じてから、お買上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は
修理に際しては、保証書をご提示ください。
保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

■保証期間がすぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。
修理料金は、技術料＋部品代(出張料)などで構成されています。

■ご連絡いただきたい内容
1. 品名クリーンヒーターエアコン
2. 形名
3. お買上げ年・月・日
4. 故障内容
できるだけ具体的に
5. 住所・名前・電話番号
付近の目印なども

形名表示

三菱電機お客さま相談窓口一覧表

北海道地区

修理相談窓口
旭　川 (0166)26-5580 旭川市曙1条8-1
滝　川 (0125)23-0117 滝川市本町1-7-4
北　見 (0157)25-7045 北見市柏陽町577-60
釧　路 (0154)24-1355 釧路市喜多町2-25
帯　広 (0155)35-3111 帯広市西13条北4-1-13
室　蘭 (0143)45-5781 室蘭市東町1-17-19
苫小牧 (0144)55-1114 苫小牧市明野新町2-1-18
札　幌 (011)221-8951 札幌市中央区北2条東13-25
小　樽 (0134)33-3380 小樽市色内2-2-11
函　館 (0138)49-0345 函館市西桔梗町589-57

一般相談窓口
北海道本部 (011)893-1313 札幌市厚別区大谷地東2-1-11

東北地区

修理相談窓口
青　森 (0177)73-8381 青森市大字野木字野尻37-184
弘　前 (0172)32-6535 弘前市大字青山4-20-3
八　戸 (0178)28-8544 八戸市大字長苗代字下亀子谷地6-8
む　つ (0175)22-3277 むつ市横迎町2-11-7
盛　岡 (019)637-7454 盛岡市羽場13地割30-11
水　沢 (0197)25-4511 水沢市卸町2-3
釜　石 (0193)23-4611 釜石市定内町3-10-1
仙　台 (022)238-1773 仙台市若林区大和町2-18-23
気仙沼 (0226)23-8485 気仙沼市田中前2-9-2
石　巻 (0225)95-9111 石巻市門脇字四番谷地16-268
古　川 (0229)24-3595 古川市米袋字大運25-1
秋　田 (0188)65-4471 秋田市八橋三和町19-36
横　手 (0182)32-1785 横手市安田字ブンナ沢80-110
大　館 (0186)42-2781 大館市餅田2-5-44
山　形 (0236)24-0018 山形市大の目2-1-21
酒　田 (0234)22-8533 酒田市北新橋2-14-3
鶴　岡 (0235)24-6161 鶴岡市上畑町5-4
米　沢 (0238)37-5554 米沢市中田町4776-1
福　島 (0245)34-7123 福島市御山字稲荷田47-1
郡　山 (0249)59-6543 郡山市喜久田町卸1-76-1
会　津 (0242)27-4426 会津若松市天寧寺町3-7
原　町 (0244)24-2842 原町市桜井町1-173
いわき (0246)26-1822 いわき市内郷御台境町鶴巻75-8

一般相談窓口
東北本部 (022)231-8282 仙台市宮城野区日の出町2-2-33

北関東・新潟地区

修理相談窓口
宇都宮 (028)662-0307 宇都宮市平出町3752-4
前　橋 (027)265-0511 前橋市後閑町92-1
新　潟 (025)274-9165 新潟市竹尾卸新町752-9
長　岡 (0258)23-3323 長岡市南陽1-1118-1
上　越 (0255)24-1160 上越市大字藤巻字上川原896-7
埼玉県全域
埼玉修理受付センター (048)651-3223 大宮市大成町4-298

一般相談窓口
首都圏本部 (03)3414-9655 東京都世田谷区池尻3-10-3

東関東地区

修理相談窓口
千葉県全域及び茨城県全域
東関東修理受付センター (0471)67-7731 柏市北柏3-14-1

一般相談窓口
首都圏本部 (03)3414-9655 東京都世田谷区池尻3-10-3

S97A

仕様

項目			仕様
品名			強制給排気式ガスストーブ(クリーンヒーターエアコン)
型式名			VGC-527H, VGC-527H-T
種類	放熱方式		強制対流式
種類	給排気方式		密閉式(強制給排気式)
点火方式			連続放電点火
定格電圧、定格周波数			AC100V 50Hz/60Hz(60Hzは調整が必要です)
消費電力			定格 83W/90W
電源コードの長さ			2m
給排気筒トップ	取付可能壁厚		135～220mm
給排気筒トップ	壁貫通部穴径		65mm
給排気筒トップ	最大延長長さ		4m3曲、本体へのドレン戻り長さ2m以下
安全装置			過熱防止装置(温度センサー、温度スイッチ、温度ヒューズ) 過電流保護装置(電流ヒューズ) 停電時安全装置 立消え安全装置 排気筒はずれ検知装置
外形寸法(mm)			高さ 742×幅 840×奥行 335(背面カバーを含む)
質量(本体)			41kg
暖房のめやす(13A)	温暖地	木造	13畳(21.5m²)まで
暖房のめやす(13A)	温暖地	コンクリート	18畳(30m²)まで
暖房のめやす(13A)	寒冷地	木造	14畳(23m²)まで
暖房のめやす(13A)	寒冷地	コンクリート	22畳(36.5m²)まで
排気温度			260℃以下

(暖房関係)

・暖房のめやすは(社)日本ガス石油機器工業会基準による。

項目		室内側	室外側
室外ユニット型式名		VGU-32BF	
電気関係	電源	室内側AC単相 100V 50/60Hz	室外側AC単相 200V 50/60Hz
電気関係	運転電流(A)	1.56/1.82	7.5/8.7
電気関係	消費電力(W)	150/180	1350/1670
冷房能力(kW)		3.2/3.6	
冷房のめやす	50Hz	9畳～13畳まで	
冷房のめやす	60Hz	10畳～15畳まで	
外形寸法(mm)		高さ 540×幅 780×奥行 320	
質量		37kg	
冷媒配管	取付壁厚	135～220mm	
冷媒配管	壁貫通部穴径	75mm	
冷媒配管	接続	フレア方式 液管 φ6.35 ガス管 φ12.7	
安全装置		低温保護装置、過電流保護装置、温度過昇防止装置	
延長配管(別売)		最大延長 長さ15m(高低差 5m)	
室内外連絡電線(別売延長パイプに付属)		VVFケーブル2芯 φ1.6～2.0mm	

(冷房関係)

・冷房のめやすは(社)日本電機工業会規格〈JEM 1447〉による。

使用ガス、ガス消費量、暖房能力、ガス接続

型式名	使用ガスグループ	消費量 kW(kcal/h)	暖房能力 kW(kcal/h)	ガス接続
VGC-527H-T	都市ガス 13A	6.40(5500)	5.23(4500)	ガスコード 3m以下
VGC-527H-T	都市ガス 12A	5.99(5150)	4.88(4200)	ガスコード 3m以下
VGC-527H	都市ガス 6A	6.40(5500)	5.23(4500)	両端ねじ継手付強化ガスホース
VGC-527H	都市ガス L1 (6B、6C、7C用)	6.28(5400)	5.14(4420)	両端ねじ継手付強化ガスホース
VGC-527H	都市ガス 5C	6.40(5500)	5.23(4500)	両端ねじ継手付強化ガスホース
VGC-527H	都市ガス L2 (5A、5AN、5B用)	6.28(5400)	5.14(4420)	両端ねじ継手付強化ガスホース
VGC-527H	都市ガス L3 (4A、4B、4C用)	6.22(5350)	5.09(4380)	両端ねじ継手付強化ガスホース
VGC-527H	LPガス	6.02(0.43kg/h)	4.94(4250)	迅速ねじ継手付強化ガスホース 両端ねじ継手付強化ガスホース

愛情点検

★長年ご使用のクリーンヒーターエアコンの点検を!

ご使用の際このような症状はありませんか。
●排気パイプがはずれている。
●臭いがしたり、目がチカチカする。
●本体後部の壁がススで汚れている。
●燃焼確認窓がススで汚れて炎が見えない。
●点火しない。使用中炎がたびたび消える。
●運転中に「ボーン」という大きな音がする。
●その他の異常・故障がある。

使用中止
故障や事故防止のため、スイッチを切り、電源プラグを抜いてから必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

三菱電機株式会社
中津川製作所　〒508 岐阜県中津川市駒場町1番3号